

地域ケア会議

～「認知症高齢者模擬検索」の実施を通して～

高齢者あんしん相談窓口

函館市地域包括支援センターゆのかわ

【報告者】 保健師 京谷 佳子

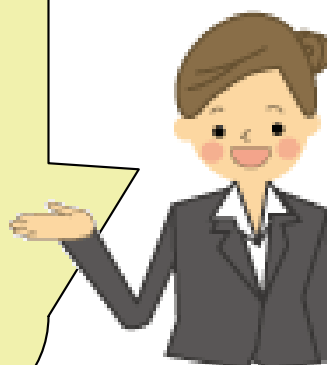
【主担当メンバー】 主任介護支援専門員 庄子 康子
社会福祉士 森 健二

【本日の内容】

1. 包括ゆのかわでの地域ケア会議
2. 認知症高齢者の模擬検索
3. 今年度の地域ケア会議
 - ① 認知症高齢者模擬検索
 - ② 公営住宅に特化した会議
4. 「模擬検索」から広がった
「地域との繋がり」

【今後の展望

/皆様にお聞きしたい事】



1、包括ゆのかわでの地域ケア会議

① 個別のケア会議

- ・個別のケースの検討を行う
- ・個別ケースの課題を蓄積
- ・地域課題を明らかにする

【包括ゆのかわでは・・・】

「認知症高齢者に関する課題」
が多くあげられた

認知症高齢者の模擬搜索 企画・実施

② 地域課題ケア会議

- ・地域課題発見
- ・地域づくり・資源開発
- ・ネットワーク構築
- ・政策形成

- ① 認知症への理解を深める
- ② 実際に地域を歩き、
認知症高齢者(役)への声掛けを
体験し対応の難しさを知る
- ③ 課題を共有し、皆が暮らしやすい
地域を考える

2、認知症高齢者の模擬搜索

主な内容

- ① **ミニ講話「認知症について」**
・身近な問題であることを伝える
- ② **模擬搜索(実践)**
・異なる立場の方々とチームを組む。
(視点や声かけ方法の違いからの
学びや、今後の連携がねらい)
- ③ **意見交換**
・高齢者役からの気づきを発表
・「できる事・必要な事」などがテーマ

これまでの参加者 (9町会)

- ・地域住民:410名
- ・行政:22名 警察:21名
- ・郵便局:3名 タクシー事業所:1名
- ・調剤薬局:32名 医療機関:15名
- ・ケアマネジャー:66名
- ・介護保険事業所:60名
- ・函館市立深堀小学校:60名
- ・函館市立深堀中学校:6名
- ・函館ラ・サール高等学校:11名
- ・専門学校:1名
- ・大学生:6名

H28からの延べ人数

714名



2、認知症高齢者の模擬搜索

取り組む上で 大切にしたい事



- ①地域住民の関心が高まる
- ②多世代参加へのアプローチ
- ③町会、関係機関との役割分担
- ④町会等との丁寧な打合せ

参加した大人が 励まされた言葉

小学生より

認知症ってどんな病気かと思ってたけど、本当にわからなくなって大変。でも**力になれたら**と思いました。

中学生より

中学生の僕らができることは限られている。でも、これからは登下校時等、**認知症の人に気付ける人**になりたい。

高校生より

若者にこそ認知症について学ぶ機会をつくり、認知症の方への**接し方を知っているのが常識**になって欲しい。



3、今年度の地域ケア会議

これまでの積み重ねをもとにさらに**進化、深化**
～「**2つの取り組み**」と「**得られた成果**」～

認知症高齢者模擬搜索

出た地域課題の掘り下げ

| テーマ | 町会・医療機関連携 地域づくり型 模擬搜索 | 公営住宅に特化した 地域ケア会議 |
|--------|---|-------------------------------------|
| 参加対象 | 国立病院機構函館病院 川原町会・川原町親和会 | 圏域内民生児童委員正副会長 市役所、警察 |
| 繋がったこと | 病院と近隣5町会で意見交換 「福祉と医療の連絡委員会」 の発足検討 | 公営住宅の高齢者に関わる 多職域での役割の 共有と意見交換 |

3、今年度の地域ケア会議

①認知症高齢者模擬検索(国立病院,川原町会,地域関係者)

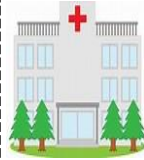
主な内容

- ①認知症高齢者模擬検索
- ②意見交換
「お互いに協力し合えること」
- ②参加状況(44名)
 - ・川原町会:17名 川原町親和会:2名
 - ・国立病院:14名 関係機関:9名 警察:2名

意見交換より

- 【病院より】
 - ・近隣町会との連携不足
 - ・無断離院者の検索について病院内だけでは対応しきれない
- 【町会より】
 - ・町会内の人手不足,一町会だけではできない
 - ・町会を越え互いに見守る協力体制が必要

得られた効果



【病院】

川原町と初めてつながり
ができた！
顔が見える付き合いに
していきたい！



【町会】

町会同士のつながりや
協力体制を作りたい！
離院者の情報があれば、
捜査の協力や見守りが
できる！

3、今年度の地域ケア会議

出された課題から、実施した地域ケア会議

テーマ：【互いに協力し合える地域づくり】

(国立病院,近隣 5 町会の代表者)



主な内容

- ①各機関からの発信
 - ・国立病院…「病院の現状と課題」
 - ・深駒町会…「病院との連携,成功例」
 - ・川原町会…「課題と期待する事」

- ②意見交換
「お互いの課題について
協力できること」



出された
ご意見から

今後の取り組み

- ①個人情報の共有について…
→気になる高齢者は**事前に家族の同意を得る**
- ②「町会と病院の連絡委員会」発足
→地域と病院をつなぐための**委員会発足を検討**
- ②地域に無断離院患者検索を依頼
→**パジャマやリストバンド等の写真を載せたパンフレットを作成し、町会と共有**

3、今年度の地域ケア会議

②公営住宅に特化した地域ケア会議

(公営住宅を担当する民生児童委員 3 方面正副会長、函館中央署生活安全課、市高齢福祉課)

主な内容

- ①住宅内での課題
- ②意見交換
「他機関に協力して欲しいこと」
- ③参加状況 (6名)
・民生児童委員：4名
・市役所：1名 ・警察：1名



得られた効果

- ①お互いの課題が明確になり、協力できることについて共有できた
- ②より多くの公営住宅に関わっている団体と**具体的なネットワーク**構築に向けた意見交換を実施したい



参集範囲を広げて再度開催

意見交換より

- ①近隣トラブルについて警察の協力は得られるか？ (民生委員)
→被害者の希望があれば相談対応できる (警察)
- ②安否確認の際、情報提供は可能か？ (警察) →わかる範囲での提供は可能 (民生委員・市・包括)

3、今年度の地域ケア会議

出された課題から、実施した地域ケア会議

テーマ：【公営住宅に特化した地域ケア会議】

(公営住宅に関わる各機関へ拡大)



主な内容

- ①参加者職種紹介
見守り協定事業を含む19団体、32名の参加
- ②意見交換
「公営住宅に特化した課題に協力できる事」
- ③参加状況
・民生児童委員・介護保険事業所・市役所所
・函館中央警察署・住宅都市施設公社
・法テラス函館・シルバーハウジング
・函館渡辺病院認知症疾患医療センター
・函館市企業局・第一環境(株)・北海道ガス
・北ガスサービス(株)・北海道ガス(株)・北海道電力(株)



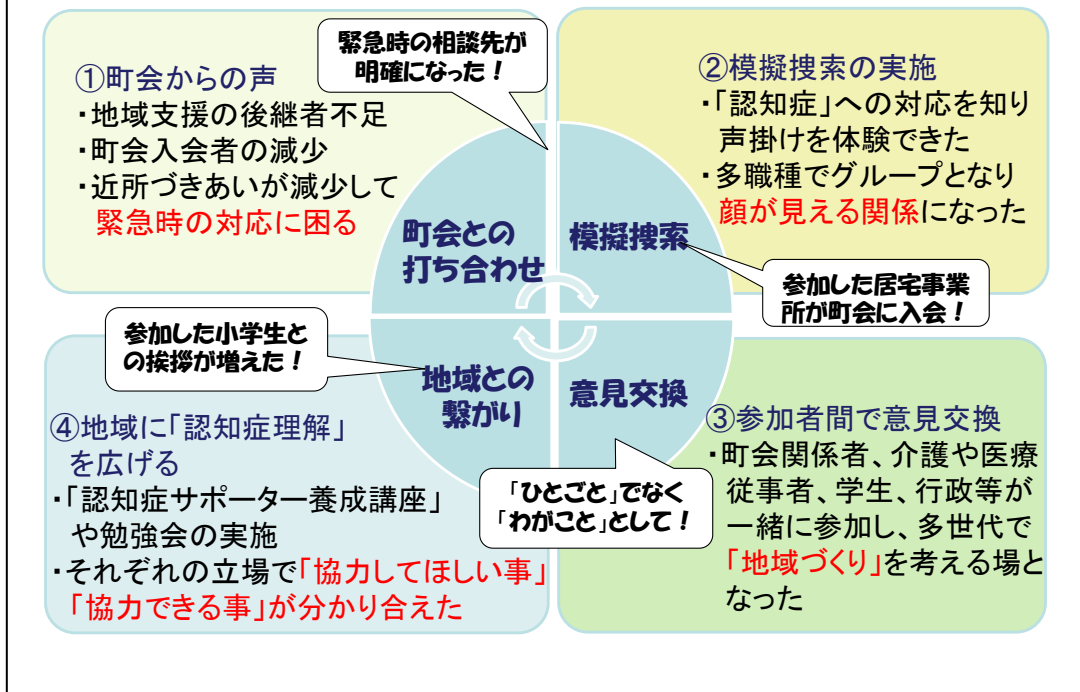
得られた成果

- «安否確認において»
- 【異変に気づくことができる団体】
電気、ガス、水道の検針時に気付ける
 - 【安否確認の対応ができる団体】
包括、市、ケアマネジャー、警察、住宅公社、民生委員などが協力して対応できる

今後の取り組み

- ①「協力できる事」の見える化
- ②個人情報について正しい理解
圏域内での全体会にて弁護士より講話を予定！

4、「模擬検索」から広がった「地域との繋がり」



4、「模擬検索」から広がった「地域との繋がり」



【今後の展望】

- ①「模擬検索」は、“その日だけの会議”ではなく、“次に繋がる広がる効果”が大きいと感じている未実施町会へも継続して展開していきたい。



- ②「出された課題」について掘り下げる事で、地域の“新たな仕組みづくり”に取り組んでいきたい

【皆様にお聞きしたい事】

- ・地域全体へ広げていくために、参加者以外や町会未加入者へ、どう伝えていけば良いか？